

協議事項26

市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について

市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和2年10月8日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

市立小学校における新型コロナウイルス感染症のクラスターへの 対応について（報告）

1. 感染確認状況（9月22日までの発表分）

- ① 当該校において、9月18日（金）から19日（土）に、教員2名・児童2名の感染が判明した。
- ② 9月20日（日）に、一部を除く教職員等及び（仮称）Aクラス（感染が判明した教員1名・児童1名が担任・在籍）の児童、約90名を対象にPCR検査を行ったところ、新たに教職員3名、児童20名、計23名の感染が確認された。
- ③ 9月21日（月）に、残る一部の教職員等及び（仮称）Bクラス（感染が判明した別の教員1名・児童1名が担任・在籍）の児童、約40名を対象にPCR検査を行ったところ、全員陰性であった。

陽性確定日	教職員	児童	計
9月18日（金）	2名	1名	3名
9月19日（土）	—	1名	1名
9月20日（日）	3名	—	3名
9月21日（月）	—	20名	20名
計	5名	22名	27名

2. 対応状況

- ① 感染確認後、保健所が疫学調査を行い、濃厚接触者及び健康観察対象者の特定を進めている。
- ② 濃厚接触者及び健康観察対象者に対して、PCR検査を行っている。
- ③ 健康局と協議の上、感染状況を把握するため、当面、9月25日（金）まで当該校を臨時休業とするとともに、教員1名及び児童21名が感染している（仮称）Aクラスの陰性の児童については、濃厚接触者として、10月2日（金）まで自宅待機とする。
- ④ 当該校においてはクラスターが発生しており、感染拡大を防止する観点から学校名の公表を行っているが、感染者等に対する差別や偏見、誹謗中傷の防止に努めていく。

神戸市立学校園における新型コロナウイルス感染症への対応等について

1. 感染確認状況

- 7月4日以降10月6日までに、児童生徒54名、教職員9名、合計63名の感染を確認

[感染者数等]

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高校・高専
児童生徒等	—	40名	11名	—	3名
教職員	1名	5名	1名	1名	1名
校園数	1園	14校	8校	1校	4校

2. 学校園における基本的な感染症対策

- 文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、以下の対策を実施

(1) 児童生徒等への指導

- 児童生徒が新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、自ら感染リスクを避ける行動を取ることができるよう指導

(2) 基本的な感染症対策

- 「感染源を絶つ」「感染経路を絶つ」「抵抗力を高める」という3つのポイントを踏まえ、感染症対策を実施

①家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認

②流水と石けんによるこまめな手洗いの徹底

③マスクの着用（ただし熱中症には配慮）

④多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）の1日1回以上の消毒 など

(3) 集団感染リスクへの対応（3つの密の回避）

①換気の徹底

②多数が集まる場所にしないための配慮（1～2mの間隔の確保）

③近距離での会話や大声での発生を控える

④給食時は前を向いて、会話をせずに食べる など